

# 2020年12月期 決算説明会

2021年2月10日  
株式会社電通国際情報サービス

**iSiD**

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

## AGENDA

**第1部 2020年12月期決算概況および  
2021年12月期業績予想**

専務執行役員  
小林 明

**第2部 中期経営計画（2019-2021年度）進捗**

代表取締役社長  
名和 亮一

**iSiD**

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

# 2020年12月期決算概況

## <注記>

- 株式会社電通は2020年1月1日付で株式会社電通グループに商号を変更しました。本紙における「電通グループ」は、原則として企業グループ全体を意味しています。
- 当期より、報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、一部の費用配賦方法を変更しました。報告セグメント別の前期情報は、変更後の方法に基づき作成したものを記載しております。

## 2020年12月期 業績ハイライト

- 新型コロナウイルス感染症の影響を一部受けるも、  
売上高・利益ともに**3期連続で過去最高を更新**
- 中計目標に対し営業利益は**1年前倒しで達成**
- 期末配当は予想比6円増の49円/株 実施予定  
配当性向40.7%、**8期連続増配**

# (1) 2020年12月期 連結業績

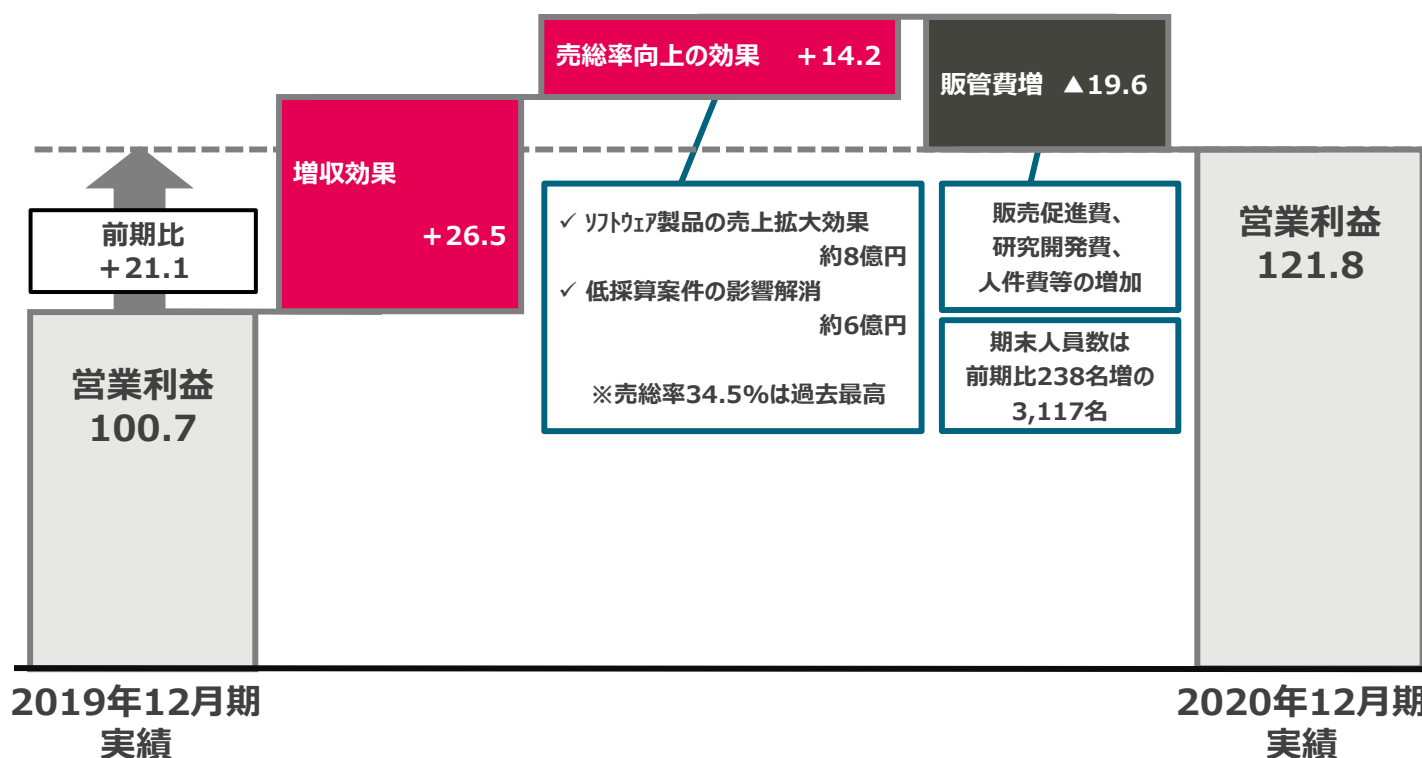
- 1/21発表の業績予想修正通りに着地
- 売上高およびすべての段階利益において、前期比、期初予想比ともに増収増益

(単位：百万円)

	2020年12月期	前期比			期初予想(2020/2/10発表)比		
		前期	増減額	増減率(%)	予想	増減額	増減率(%)
売上高	108,679	100,679	+8,000	+7.9	105,000	+3,679	+3.5
売上総利益	37,472	33,390	+4,082	+12.2	35,454	+2,018	+5.7
売上総利益率	34.5%	33.2%	+1.3p	-	33.8%	+0.7p	-
販売費及び一般管理費	25,282	23,315	+1,967	+8.4	24,954	+328	+1.3
営業利益	12,189	10,075	+2,114	+21.0	10,500	+1,689	+16.1
営業利益率	11.2%	10.0%	+1.2p	-	10.0%	+1.2p	-
経常利益	11,502	9,648	+1,854	+19.2	10,217	+1,285	+12.6
親会社株主に帰属する当期純利益	7,362	6,226	+1,136	+18.2	6,911	+451	+6.5
ROE	12.9%	11.8%	+1.1p	-	-	-	-

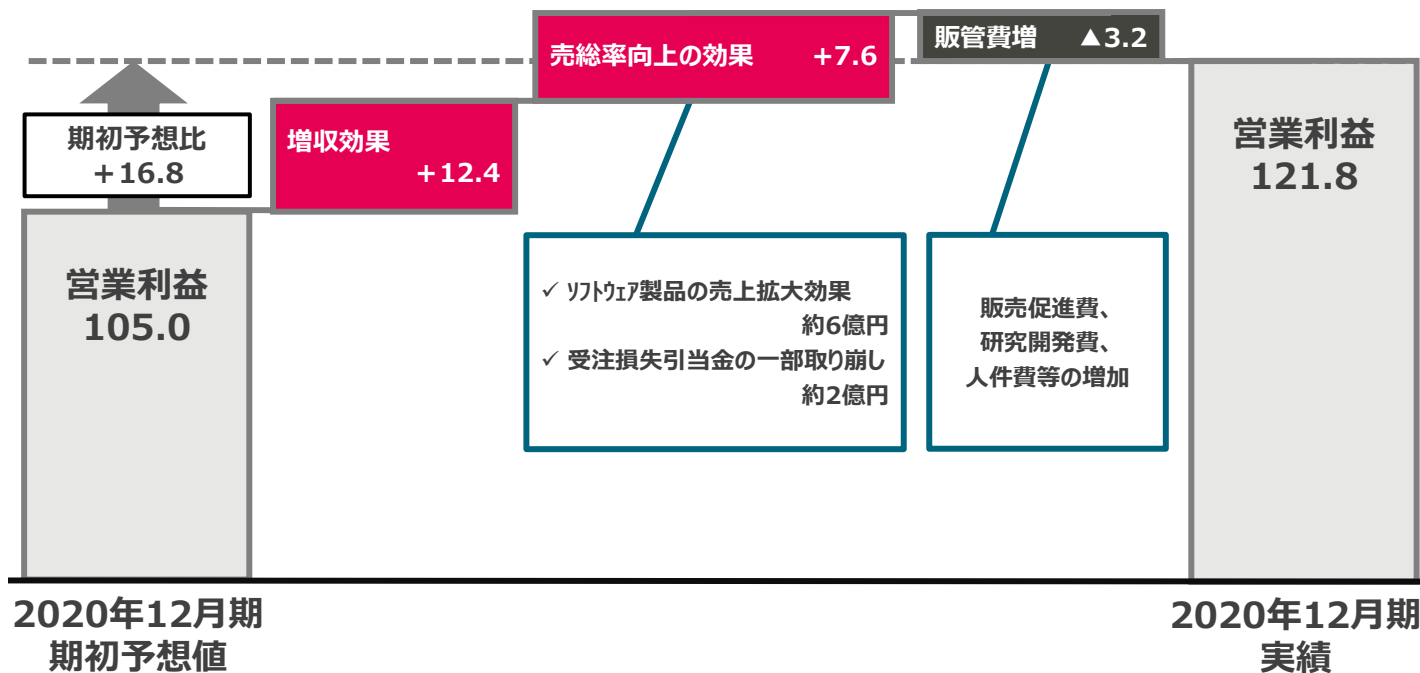
# (2)-1 営業利益の増減要因【前期比】

(単位：億円)



## (2)-2 営業利益の増減要因【期初予想比】

(単位：億円)



isiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

7

## (3) 報告セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

報告セグメント	2020年12月期	前期比			概況	期初予想比	
		増減額	増減率(%)	増減額		増減率(%)	
金融ソリューション	売上高	23,888	▲734	▲3.0	政府系や流通系の金融機関向け案件が拡大するも、システム開発案件がコア向けを中心に国内外で減少し減収。利益も、低採算案件影響が解消も、減収影響等により減益	▲1,723	▲6.7
	営業利益	1,411	▲105	▲6.9		-	-
	%	5.9%	▲0.3p	-		-	-
	人員数	741人	+41人	+5.8		-	-
ビジネスソリューション	売上高	22,100	+2,811	+14.6	「POSITIVE」「Ci*X」「STRAVIS」の販売・導入が拡大し、増収。利益は、新製品開発の積極的推進にともなうR&D費増を、増収効果、収益性向上により吸収し、増益	+2,043	+10.2
	営業利益	2,760	+823	+42.5		-	-
	%	12.5%	+2.5p	-		-	-
	人員数	599人	+56人	+10.3		-	-
製造ソリューション	売上高	30,511	+484	+1.6	コンサルティングサービス案件の中止・延期等があるも、自動車業界向けを中心に、PLMやCAE等ソフトウェアの販売・導入が堅調に推移し、増収。利益は、コンサルの売上高減少を主因に減益	▲899	▲2.9
	営業利益	2,357	▲77	▲3.2		-	-
	%	7.7%	▲0.4p	-		-	-
	人員数	656人	+22人	+3.5		-	-
コミュニケーションIT	売上高	32,179	+5,440	+20.3	電通グループの基幹システム領域は大型の更改案件があり前期並み。電通グループとの協業による顧客のDX支援ビジネスが拡大し、増収増益	+4,259	+15.3
	営業利益	5,659	+1,472	+35.2		-	-
	%	17.6%	+1.9p	-		-	-
	人員数	461人	+28人	+6.5		-	-

※ POSITIVE：人事管理ソリューション Ci\*X：会計ソリューション STRAVIS：連結会計ソリューション PLM：Product Lifecycle Management CAE：Computer Aided Engineering ※ 人員数は期中平均人員

isiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

8

## (4) サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2020年 12月期	前期比			期初予想比	
		増減額	増減率(%)	概況	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	5,975	▲844	▲12.4	主に製造ソリューションが減少	▲614	▲9.3
受託システム開発	28,147	▲1,006	▲3.5	主に金融ソリューションが減少	▲1,651	▲5.5
ソフトウェア製品	20,549	+3,423	+20.0	「POSITIVE」「iPLAss」「Ci*X」 「STRAVIS」等が拡大	+1,725	+9.2
ソフトウェア商品	33,325	+3,380	+11.3	Salesforceソリューション、 PLM、CAEが拡大	+1,631	+5.1
アウトソーシング ・運用保守サービス	12,462	+2,938	+30.8	コミュニケーションITセグメントが拡大	+2,761	+28.5
情報機器販売・その他	8,219	+109	+1.3	ほぼ前期並み	▲171	▲2.0

ISiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

※ iPLAss・・・マーケティングプラットフォーム

9

## (5) 業種別 連結売上高

(単位：百万円)

業種	2020年12月期		前期比	
	売上高	構成比(%)	増減額	増減率(%)
銀行	19,191	17.7	▲208	▲1.1
その他金融	4,504	4.1	▲988	▲18.0
金融	23,695	21.8	▲1,195	▲4.8
輸送機器	15,950	14.7	+850	+5.6
電気・精密機器	9,540	8.8	+408	+4.5
機械	6,707	6.2	+211	+3.3
その他製造	7,908	7.3	▲315	▲3.8
製造	40,106	36.9	+1,154	+3.0
サービス・公共	36,377	33.5	+6,871	+23.3
流通・その他	8,502	7.8	+1,170	+16.0

<電通グループ向け売上高>

株式会社電通グループ 及びそのグループ会社	28,503	26.2	+5,166	+22.1
--------------------------	--------	------	--------	-------

※ 一部顧客の業種を見直したため、前期比較については組み替え後の数値を適用

ISiD

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

10

## (6) 受注高・受注残高

(単位：百万円)

		受注高				受注残高	
		2020年 12月期 第4四半期	前年同期比 増減率(%)	2020年 12月期 通期	前期比 増減率(%)	2020年 12月期 通期	前期比 増減率(%)
合計		24,577	+11.4	111,257	+9.3	35,080	+7.9
報告セグメント 別内訳	金融ソリューション	6,139	+13.5	22,813	+5.6	7,462	▲12.6
	ビジネスソリューション	5,771	+27.8	21,641	+2.8	6,908	▲6.2
	製造ソリューション	6,904	+7.1	32,188	+5.4	12,403	+15.6
	コミュニケーションIT	5,762	+1.5	34,614	+21.2	8,305	+41.5
サービス品目 別内訳	コンサルティングサービス	1,586	+1.7	5,920	▲12.5	791	▲6.5
	受託システム開発	5,677	+10.1	25,466	▲8.2	5,797	▲31.6
	ソフトウェア製品	6,125	+43.3	21,078	+9.6	7,225	+7.9
	ソフトウェア商品	6,766	+0.5	35,866	+18.3	14,024	+22.1
	アウトソーシング・運用保守	2,674	+72.5	13,339	+39.8	2,384	+58.2
	情報機器販売・その他	1,745	▲37.3	9,585	+17.8	4,856	+39.1

## (7) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020年 12月31日	2019年 12月31日	対前期末 増減	主な増減要因
流動資産	78,795	69,728	+9,067	売上債権の増加 (+4,223) 預け金の増加 (+2,707) 前渡金の増加 (+2,585)
固定資産	18,351	17,576	+775	無形リース資産の増加 (+757) ソフトウェアの増加 (+331) 有形リース資産の減少 (▲555)
資産合計	97,147	87,305	+9,842	
流動負債	34,463	29,456	+5,007	前受金の増加 (+2,508) 未払法人税等の増加 (+814) 未払費用の増加 (+499)
固定負債	3,096	2,966	+130	資産除去債務の増加 (+64)
負債合計	37,559	32,423	+5,136	
純資産合計	59,587	54,882	+4,705	利益剰余金の増加 (+4,593)
負債純資産合計	97,147	87,305	+9,842	

## (8) 連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2020年 12月期	今期の主な動き	前期比	
			2019年 12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,987	税金等調整前当期純利益 (10,950) 減価償却費 (2,865) 売上債権の増加額 (▲4,246) 法人税等の支払額 (▲2,786)	10,642	▲655
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲3,230	無形固定資産の取得による支出 (▲1,614) 関係会社株式の取得による支出 (▲813) 事業譲受による支出 (▲466)	▲3,952	+722
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲3,942	配当金の支払額 (▲2,769) リース債務の返済による支出 (▲1,168)	▲3,260	▲682
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲21		▲68	+47
現金及び現金同等物の増減額 (▲は減少)	2,792		3,360	▲568
現金及び現金同等物の期首残高	36,981		33,620	+3,361
現金及び現金同等物の期末残高	39,773		36,981	+2,792

## (参考) 2020年12月期第4四半期 連結業績

- ビジネスソリューションのソフトウェア製品、製造ソリューションのソフトウェア商品の拡大等により増収
- 増収効果およびソフトウェア製品拡大を主因とする売上総利益率向上効果により増益

(単位：百万円)

	2020年12月期 第4四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
売上高	28,496	27,715	+781	+2.8
売上総利益	9,841	9,244	+597	+6.5
売上総利益率	34.5%	33.4%	+1.1p	-
販売費及び一般管理費	6,957	6,771	+186	+2.7
営業利益	2,883	2,472	+411	+16.6
営業利益率	10.1%	8.9%	+1.2p	-
経常利益	2,383	2,108	+275	+13.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,344	1,066	+278	+26.1

# (参考) 2020年12月期第4四半期 連結業績

## <報告セグメント別>

(単位：百万円)

報告セグメント		2020年 12月期 第4四半期	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
金融ソリューション	売上高	6,091	▲121	▲1.9
	営業利益	236	+6	+2.6
	%	3.9%	+0.2p	-
ビジネスソリューション	売上高	6,027	+983	+19.5
	営業利益	503	+366	+267.2
	%	8.3%	+5.6p	-
製造ソリューション	売上高	8,436	+391	+4.9
	営業利益	870	+137	+18.7
	%	10.3%	+1.2p	-
コミュニケーションIT	売上高	7,941	▲472	▲5.6
	営業利益	1,273	▲97	▲7.1
	%	16.0%	▲0.3p	-

## <サービス品目別>

(単位：百万円)

サービス品目	2020年 12月期 第4四半期	前年同期比	
		増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	1,764	+21	+1.2
受託システム開発	6,607	▲1,001	▲13.2
ソフトウェア製品	5,747	+989	+20.8
ソフトウェア商品	9,019	+569	+6.7
アウトソーシング・運用保守	3,120	+333	+11.9
情報機器販売・その他	2,238	▲128	▲5.4

## 2021年12月期業績予想

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。



## (1) 2021年12月期 業績予想の前提

### プラスの影響

- 社会/企業のDX投資の加速
- リモートワーク普及等を背景とする、新たなIT投資需要の拡大

### マイナスの影響

- コロナ禍による不透明な経済環境
- 前期大型案件の一部比°-アウト

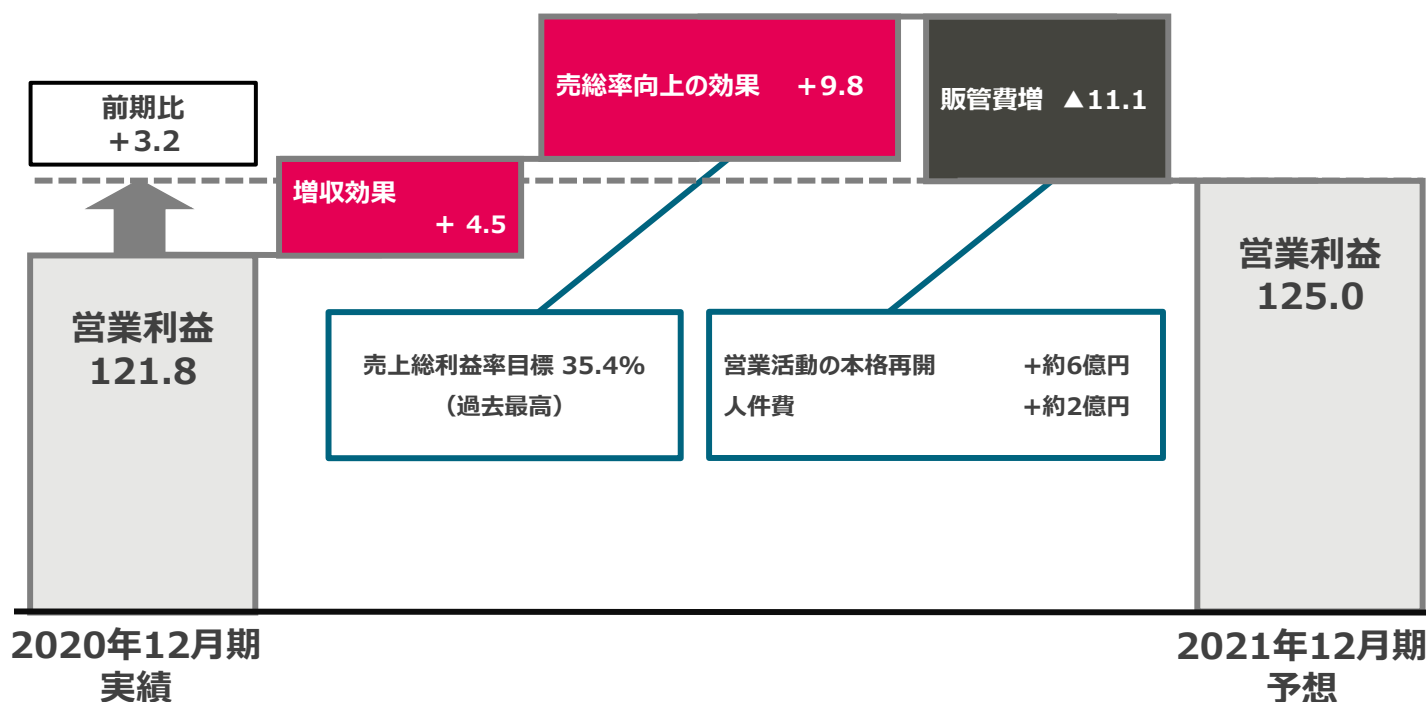
## (2) 2021年12月期 業績予想

(単位：百万円)

ポイント	通期	前期比			
		前期	増減額	増減率(%)	
<b>【売上高】</b> 社会や企業のDX支援を中心に、中計目標1,100億円(過去最高)の達成を目指す	売上高	110,000	108,679	+1,321	+1.2
<b>【営業利益】</b> 営業本格再開による販管費増を、売上総利益の拡大により吸収し、4期連続となる最高益を目指す	営業利益	12,500	12,189	+311	+2.6
	営業利益率	11.4%	11.2%	+0.2p	-
<b>【人員計画】</b> 前期比4.3%増の3,250名を計画	経常利益	12,300	11,502	+798	+6.9
	親会社株主に帰属する当期純利益	8,300	7,362	+938	+12.7
	人員計画	3,250名	3,117名 期末人員数	+133名	+4.3%

### (3) 2021年12月期 営業利益の増減要因

(単位：億円)



### (4) 2021年12月期 売上高予想 <報告セグメント別>

- DX支援事業をさらに強化するため、2021年12月期より、基幹システムの構築ビジネスを展開する「インタープライズ IT事業部」をビジネスソリューションからコミュニケーションITに移管
- 体制強化とともに、マーケティングから基幹領域全体を加へし競争力のあるサービスを展開

(単位：百万円)

報告セグメント	通期	前期との比較		
		前期	増減額	増減率(%)
金融ソリューション	24,852	23,888	+964	+4.0
ビジネスソリューション	15,589	22,100	▲6,511	▲29.5
(参考)	<u>15,589</u>	※ <u>15,092</u>	<u>+497</u>	<u>+3.3</u>
製造ソリューション	30,913	30,511	+402	+1.3
コミュニケーションIT	38,643	32,179	+6,464	+20.1
(参考)	<u>38,643</u>	※ <u>39,187</u>	<u>▲544</u>	<u>▲1.4</u>

※ 当該数値は、比較の便宜のため、2020年12月期実績値から当社単体の「インタープライズ IT事業部」の売上高の加減算のみで算出した参考情報です。

## (5) 2021年12月期 売上高予想 <サービス品目別>

(単位：百万円)

サービス品目	通期	前期との比較		
		前期	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	6,471	5,975	+496	+8.3
受託システム開発	31,542	28,147	+3,395	+12.1
ソフトウェア製品	22,162	20,549	+1,613	+7.8
ソフトウェア商品	32,262	33,325	▲1,063	▲3.2
アウトソーシング ・運用保守サービス	11,188	12,462	▲1,274	▲10.2
情報機器販売・その他	6,373	8,219	▲1,846	▲22.5

## (6) 2021年12月期上期 業績予想

- 前年同期の大型案件ビ°-アウトの影響により、減収減益を予想

(単位：百万円)

	上期 (1-6月)	前年同期との比較			通期に対する 割合
		前年同期	増減額	増減率(%)	
売上高	53,300	55,020	▲1,720	▲3.1	48.5%
営業利益	6,000	6,971	▲971	▲13.9	48.0%
営業利益率	11.3%	12.7%	▲1.4p	-	-
経常利益	5,900	6,862	▲962	▲14.0	48.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,000	4,512	▲512	▲11.3	48.2%

## (7) 2021年12月期上期 売上高予想

### <報告セグメント別>

(単位：百万円)

報告セグメント	上期 (1-6月)	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
金融ソリューション	12,222	12,224	▲2	▲0.0
ビジネスソリューション	7,575	10,885	▲3,310	▲30.4
(参考)	7,575	※7,304	+271	+3.7
製造ソリューション	15,118	15,531	▲413	▲2.7
コミュニケーションIT	18,384	16,378	+2,006	+12.2
(参考)	18,384	※19,959	▲1,575	▲7.9

※ 当該数値は、比較の便宜のため、2020年12月期実績値から当社単体のエンタープライズIT事業部の売上高の加減算のみで算出した参考情報です。

### <サービス品目別>

(単位：百万円)

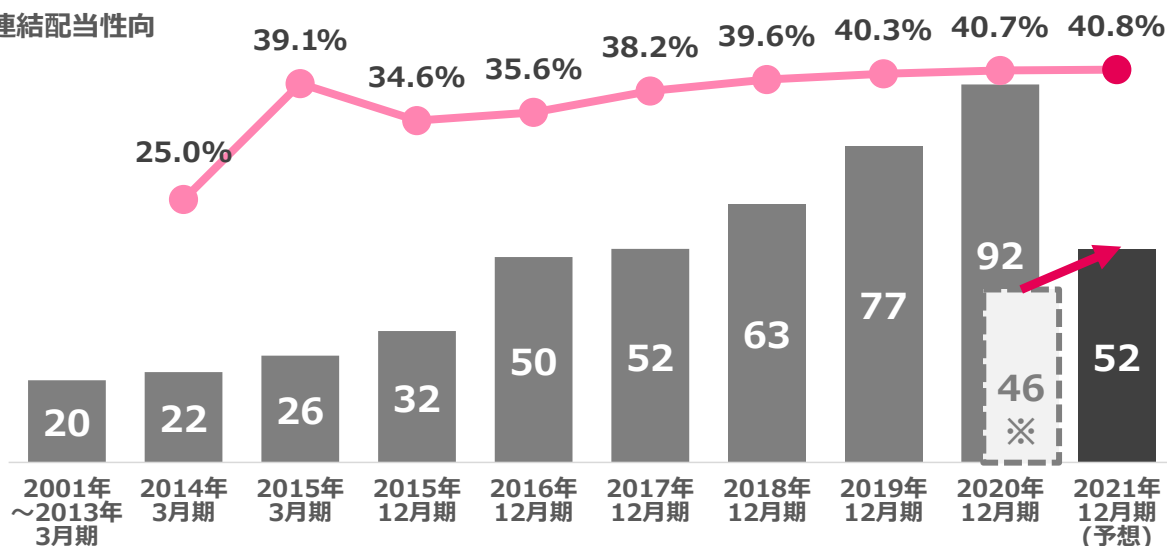
サービス品目	上期 (1-6月)	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
コンサルティングサービス	2,892	3,019	▲127	▲4.2
受託システム開発	15,755	14,995	+760	+5.1
ソフトウェア製品	10,435	10,124	+311	+3.1
ソフトウェア商品	15,716	16,699	▲983	▲5.9
アウトソーシング・運用保守サービス	5,288	6,090	▲802	▲13.2
情報機器・その他	3,211	4,090	▲879	▲21.5

## (8) 配当予想

- 2021年1月1日を効力発生日として株式分割（1対2）を実施
- 2021年12月期年間配当予想は1株当たり6円増の52円（中間26円/期末26円）
- 配当性向40.8%、9期連続の増配を目指す

■ 1株当たり年間配当金(円)

● 連結配当性向



※分割考慮後

# 中期経営計画（2019-2021年度）進捗

## 中期経営計画（2019-2021年度）骨子

### ISID X(Cross) Innovation 2021

テクノロジー、業界、企業、組織、地域などを超えた「X Innovation」の推進を通して、新しい価値を「協創」し、企業理念の実現を目指していく。

#### 基本方針

1. 主力事業の進化

2. 新規事業の創出

#### 3. 事業基盤の革新

- 人材力の強化
- 先端技術への取組み加速
- 事業支援部門の付加価値力向上

#### 定量目標

	2021年度 中計目標	2018年度業績を 起点としたCAGR
売上高	1,100億円	6.5%
営業利益	110億円	10.3%
営業利益率	10%	
ROE	12.5%	

#### 投資計画（3カ年合計）

人材投資	+120億円
研究開発費	100億円
出資・M&A投資	100億円

## 中計進捗状況 <全体感>

- 定量目標はすべて達成の見通し

(単位：億円)

	2021年12月期中計目標	2021年12月期業績予想	差異
売上高	1,100	1,100	-
営業利益	110	125	+15
営業利益率	10.0%	11.4%	+1.4p
ROE	12.5%	13.4%	+0.9p

## 中計進捗状況 <売上高>

- ビジネスソリューション、コミュニケーションITが中計想定を超える見通し
- 金融ソリューション、製造ソリューションはコロナ影響等あるも、取り組みはほぼ計画通り推進

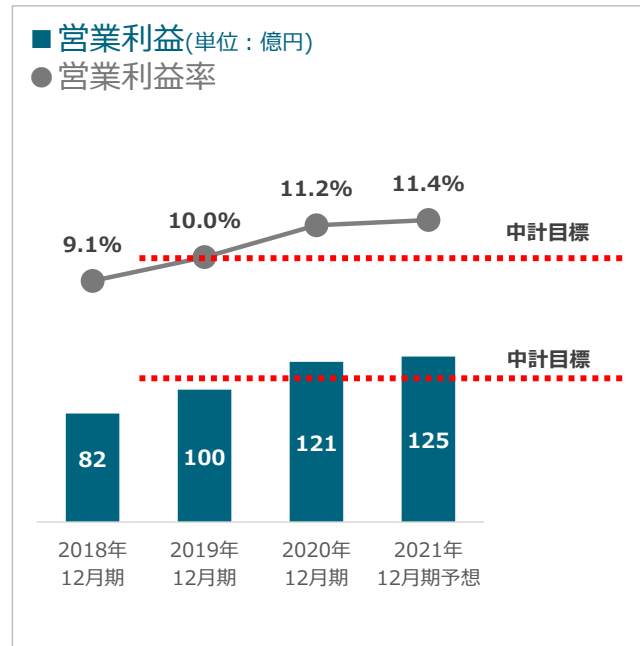
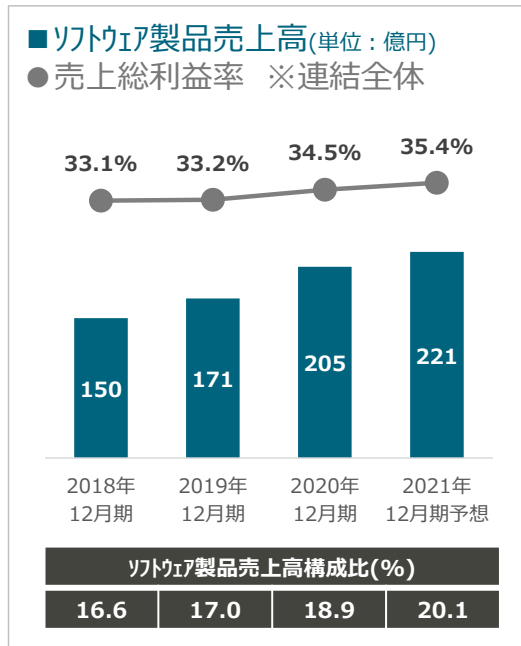
(単位：億円)

	2021年12月期中計目標	2021年12月期業績予想	差異	概況
金融ソリューション	270	248	▲22	大手銀行の投資抑制とコロナ禍が影響も、金融を取り巻くIT投資動向変化に対応
ビジネスソリューション	200	※227	+27	ソフトウェア製品の優位性をさらに向上
製造ソリューション	345	309	▲36	コロナ禍影響あるも、従来の設計領域に加え、DXや製造工程など新領域の案件増加
コミュニケーションIT	235	※315	+80	電通グループ協業によるDX支援ビジネス拡大
X Innovation	50	各セグメントに計上	-	2020年度、約30億円の案件を創出
合計	1,100	1,100	-	

※ 当該数値は、比較の便宜のため、2021年12月期業績予想数値から当社単体のインタープライズIT事業部の売上高の加減算のみで算出した参考情報です。中計目標数値は当初設定のままであり、組織改編の組み替えは行っていません。

## 中計進捗状況 <営業利益>

- ソフトウェア製品ビジネスの成長を軸に、売上総利益率が過去最高を更新
- 営業利益・営業利益率は中計目標を前倒して達成



## 中計進捗状況 <人材投資>

### 人材投資

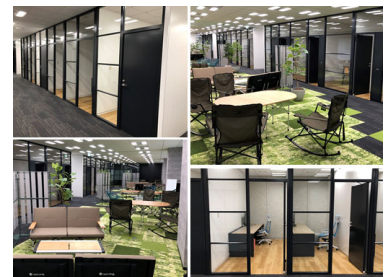
進捗見通し **131%**

※2021年12月期計画値含む

(目標：3カ年の総額人件費合計を前3カ年比**120億円**増額)

- ✓ 計画上回る利益創出を給与・業績連動賞与に反映
- ✓ 人員計画も中計最終年度想定3,120名をほぼ達成、今期もさらに拡充  
～新卒・中途の積極推進に加え、事業買収実施
- ✓ 働き方改革への投資も同時に推進

- ワイリバーション
- 在宅勤務等補助手当の支給
- テレワーク勤務制度の拡充



# 中計進捗状況 <研究開発投資、M&A投資>

## 研究開発投資

(目標：3カ年累計100億円)

進捗見通し**86%**  
※2021年12月期計画含む

経費性 進捗見通し**90%**  
(目標：3カ年累計60億円)

資産性 進捗見通し**80%**  
(目標：3カ年累計40億円)

- ✓ 新製品開発を中心に順調に進捗
- ✓ 2018年末に販売開始した新製品Ci\*Xは、受注累計が10企業グループ50社を超え、主力製品へと成長～さらなる新規開発も推進



## 出資・M&A投資

(投資枠：3カ年累計100億円)

進捗**33%**  
※2020年12月末現在

- ✓ 案件精査しつつ事業拡大に向け推進中

2020年度の主な投資	目的
(株)ACSiONへの追加出資	セブン銀行との合併による、不正検知・オンライン本人認証サービスの提供
Dentsu Innovation Studio Inc.設立	米国における、電通グループとの合併による事業開発支援サービスの提供
キャスコンサルティング(株)からの事業譲受	開発体制およびシステム・エンジニアリング・サービスの強化

# 中計進捗状況 <X Innovationの推進>

- 加セグメントや各パートナーとの協業を中心に約30件、約30億円の案件創出(2020年度実績)
- 先端技術のビジネス展開加速に向け、3つの全社横断組織設置

### 全社横断組織の設置

**AITC**  
AI Transformation Center  
～AI技術者集約～

**EXRC**  
ENTERPRISE XR CENTER  
インタープライズXRセンター  
～VR、AR、MRビジネス推進～

**UXデザインセンター**  
～UX・UIデザインの専門チーム～

### 電通グループとの協業体制

**Dentsu DX Ground**  
～クラウドインテグレーション提供～

**SDGsビジネスソリューション**  
～サステナブルエコミの取り組み支援～

Dentsu  
Innovation  
**Studio!**  
～米国における新規事業創出支援～

### 顧客との事業共創

**ACSiON**  
セブン銀行との合併による  
セキュリティソリューション提供

**proost**  
オンライン本人認証サービス

**Detecker**  
不正申込、不正アクセス監視検知サービス



# 中計最終年度の注力ポイント ～報告セグメント別

	注力ポイント	売上高予想 (億円)
金融ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 金融機関の事業改革、構造改革支援                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ デジタルエンゲージメント領域 (CRM/SFA)</li> <li>✓ 規制緩和にともなう非金融事業参入支援</li> </ul> </li> <li>● 地域金融機関と地域活性DX推進</li> </ul>	<p>+4.0%</p> <p>2020年12月期: 238 2021年12月期予想: 248</p>
ビジネスソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 人事・会計領域にさらに注力                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ POSITIVE/STRAVISの機能および体制強化</li> <li>✓ Ci*Xシリーズの新製品開発継続</li> </ul> </li> <li>● サービス型ビジネスモデルの強化</li> </ul>	<p>+3.3%</p> <p>2020年12月期: 150 ※ 2021年12月期予想: 155</p>

※事業部移管の影響を簡易的に調整した数値

# 中計最終年度の注力ポイント ～報告セグメント別

	注力ポイント	売上高予想 (億円)
製造ソリューション	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動車産業へのさらなる深耕～iQUAVIS活用</li> <li>● 領域拡張～生産/製造工程やILK/制御系の強化</li> <li>● 業種開拓～医療、不動産産業等への参入</li> <li>● DX支援強化～電通/iSiDのグループ総合力発揮</li> </ul>	<p>+1.3%</p> <p>2020年12月期: 305 2021年12月期予想: 309</p>
コミュニケーションIT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DX支援のソリューション提供体制強化                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 事業部移管による体制拡充とノウハウの融合</li> </ul> </li> <li>● 電通グループとの協業加速                     <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ DDXG等の座組み、電通内に設置されたiSiD戦略部等を通して協業をさらに加速</li> </ul> </li> </ul>	<p>▲1.4%</p> <p>2020年12月期: 391 ※ 2021年12月期予想: 386</p>

※事業部移管の影響を簡易的に調整した数値

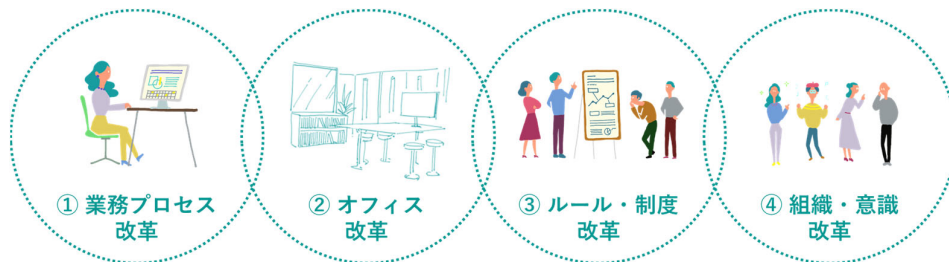
# 中計最終年度の注力ポイント

## 長期事業戦略策定プロジェクトの推進

「2030年に向けた事業戦略」と、2022年1月スタート予定の「新中期経営計画」の策定に向け活動推進中

## ワークトランスフォーメーションプロジェクトの推進

ニューノーマル時代に向け、円滑な事業推進・生産性向上を目的に、4つの改革を進行



## Appendix 主要プレスリリース <2020年11月～2021年2月>

2020/11/16	国内電通グループなど7社合同で「SDGステイナビリティ」の提供開始
2020/11/20	連結会計ソリューション「STRAVIS」最新版Ver.6.1をリリース
2020/11/24	企業のXR活用を支援する「エンタープライズXRセンター」を設置
2020/11/25	JINSの新サービス「CLICK&GO」対応LINEミニアプリを構築
2020/11/26	関西エリアの経費精算システムを「Ci*X Expense」で刷新
2020/11/27	旭化成と農業データ流通基盤の実証実験を開始
2020/11/30	「フレッド制度」の導入について
2020/12/10	連結会計ソリューション「STRAVIS」の事業連結ソリューションをリリース
2020/12/14	山陰合同銀行にACSionのウェアラブル本人認証「proost」を導入
2020/12/16	三菱商事の新連結決算システムを「STRAVIS」で構築
2020/12/18	ALife（人工生命）技術を用いて自然界の音の豊かさを表現する「Alternative Comfort」を東京・表参道で展示
2020/12/21	明治安田生命のアウトマセジメントシステムを「POSITIVE」で構築
2020/12/23	ブラジストンとAI画像診断を用いた「パラコム」の高精度病害診断技術を共同開発
2020/12/24	汎用ワークフローシステム「Ci*X Workflow」を提供開始
2020/12/24	明電舎の技術研修センター「Manabi-ya」へARトレーニングツールを提供
2020/12/25	横浜で市民参加型合意形成プラットフォーム「Decidim」の実証実験を開始
2020/12/25	SAPビジネス拡大に向けノウハウと業務提携
2021/1/20	電通デジタル、電通モバイルとクラウドインテグレーションを強化するグループ横断組織を設立
2021/1/26	文書活用AIソリューション「TexAI Intelligence」にISiD独自の日本語学習済「BERT」モデルを搭載
2021/1/29	ACSionのウェアラブル本人認証「proost」をランガーズへ導入
2021/2/8	AIモデルの開発・運用を自動化する「OpTApf」に時系列データの前処理加工を行う新機能搭載
2021/2/9	従業員のコンディションを可視化するツール「ウェルビーイングノート」の提供開始